

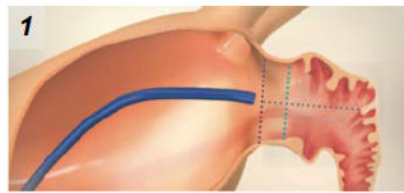
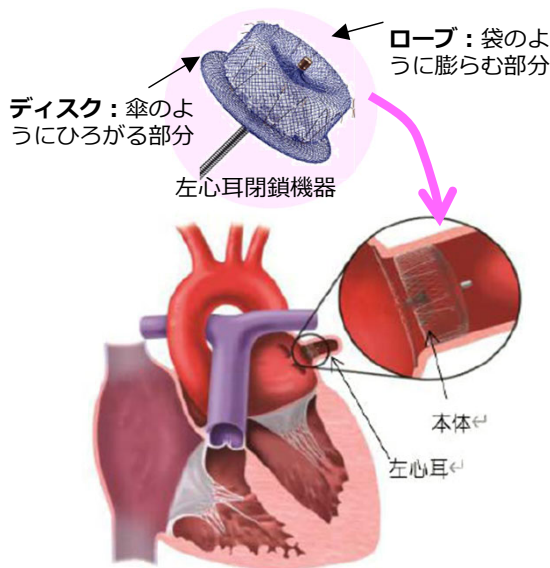


心房細動の患者を対象とした臨床試験を開始します。 脳梗塞の血栓を防ぐ「左心耳閉鎖機器」の有効性を確認へ

千葉大学病院（病院長 横手幸太郎）は、心房細動の患者を対象とした臨床試験を6月から開始します。心臓の左心耳は脳梗塞の原因となる血栓ができやすく、この血栓を予防するため「左心耳閉鎖機器」により左心耳を塞ぐ治療の有効性を検証します。この臨床試験には世界で最大150施設、日本でも当院を含めて8施設が参加予定です。

当院では既に「左心耳閉鎖機器」を使った治療に2020年1月から取り組んでおり、今年4月から臨床試験の担当医師が米国で手技を習得し、国内ではいち早く試験をスタートいたします。

左心耳閉鎖の方法 カテーテルを用いて左心耳閉鎖機器を左心耳に留置します。



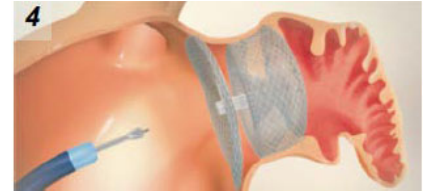
1 X線や心エコーを使用して、左心耳のサイズを計測します。



2 カテーテルにより左心耳閉鎖機器を左心耳の入口に留置。先端の袋部分(ローブ)を膨らませます。



3 左心耳に先端の袋部分がはまったのを確認し、根本部分(ディスク)を広げて固定します。



4 カテーテル内を通して留置ケーブルを反時計回りに回して、左心耳閉鎖機器を切り離します。



近藤 祐介（臨床試験担当医師）

現在、脳梗塞のリスクの高い心房細動の患者さんは、心臓の中に血のかたまり（血栓）を作らないために、血をさらさらにする“抗凝固薬”による治療を長期間行っています。本治療により、“抗凝固薬”から解放され、生活の質（QOL）が向上することが期待されます。

試験に関するお問い合わせ（2022年7月～12月）

千葉大学医学部附属病院 循環器内科 近藤祐介

Tel：070-2676-3878 E-mail：act.kondo“AT”chiba-u.jp

月曜日10時から14時（祝日を除く）、木曜日10時から14時（祝日を除く）

取材申し込み・お問合せ先

千葉大学医学部附属病院 病院広報室 吉沢・高井

Tel：043-226-2225 Fax：043-224-3830 E-mail：byoin-koho@chiba-u.jp